

# 小山田小

2026年10月30日

第7号

町田市立小山田小学校

校長 倅田 隆良

042(797)1824

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1310200>

「一步の勇氣」と「小さな思いやり」があふれる学校へ

生活指導主幹 山合 俊吾

「いじめ」は、特別な子供が起こすものではありません。どの子供にも相手を傷つけてしまう可能性があり、どの集団でも起こり得るものです。その背景には、「友達に認められたい」「自分を強く見せたい」といった、誰もが心の中にもっている小さな承認欲求があります。また、「ただの冗談だった」という何気ない言動が、相手の深い心の傷になることもあります。「これくらい大丈夫」という自分基準の物差しが、時に他者を苦しめる刃に変わるからこそ、本校では「いじめをしない」だけでなく、「お互いの心の距離感を大切にできる関係づくり」を何より重視しています。

日々の学級活動や道徳の授業では、他者を尊重し、多角的な視点から物事を捉える姿勢を育む指導を積み重ねています。その中でも相手の立場に立つということは、実は子供たちにとって、想像以上に高度な知性と優しさを必要とする難しい挑戦です。だからこそ私たちは、集団への一斉指導だけで終わらせるのではなく、日頃の対話を通じて一人一人の小さなつまずきや心の変化に寄り添い、相手の気持ちを一緒に想像しながら丁寧に言葉をかける個別のアプローチを大切にしています。その上で、定期的なアンケートや教育相談も活用し、教職員全員で子どもたちの心の揺らぎを見逃さないよう、組織的な見守りとタイムリーなサポートに努めています。

子供たちには、「自分がされて嫌なことはしない」という基本に加え、「困っている友達に声をかけること」「一人で抱え込まず、大人に相談すること」の重要性も伝えています。いじめを見過ごさない「一步の勇氣」は、集団の空気を変える大きな力をもっています。いじめを決して許さない強い意志と、一人一人の小さな思いやりこそが、教室を安全な場所にする最大の鍵だからです。

子供たちが毎日安心して学び、笑顔で過ごせる学校であるために、学校と家庭が同じ方向を向いて支えていくことが不可欠です。本校では「小山田小学校いじめ防止基本方針」を策定し、未然防止や早期対応に組織的に取り組んでいます。保護者の皆様におかれましても、ホームページをご確認いただき、ぜひご家庭でも「言葉の重み」や「相手を思いやること」について、大人の目線から語り合うきっかけにいただければ幸いです。学校と家庭が手を取り合い、温かい地域社会全体で子供たちの成長を見守っていきましょう。

